

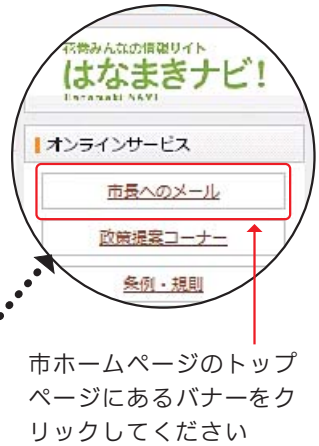
まちづくりはみんなの意見で



住 みよいまちづくりには、市民の皆さんの声が必要です。市では、市民の皆さんと協働のまちづくりを進めるため、「市長へのはがき」や「市長へのメール」による広聴活動に取り組んでいます。皆さんが日ごろ思っていること、感じていることをお気軽にお聞かせください。

▽投書箱の設置場所
市役所本庁(本館)、各総合支所

■「市長へのメール」利用方法
市ホームページの専用フォームから意見などを入力し、メール送信してください。



市ホームページのトップページにあるバナーをクリックしてください

■「市長へのはがき」の利用

専用のはがきに意見などを記入し、郵便ポストまたは投書箱に投函してください(切手不要)。

▽はがきの設置場所

市役所本庁(本館・新館)、各総合支所、各保健センター、各図書館、各振興センター、まなび学園、石鳥谷生涯学習会館、花巻市交流会館、なほんプラザ、市内の各郵便局

初の国際定期チャーター便就航

いわて花巻空港と台湾を結ぶ国際定期チャーター便が4月17日、運航を開始しました。

台湾からの第一便の観光客約80人が空港ロビーに降り立つと、横断幕を掲げた観光関係者などが拍手で歓迎。国際定期チャーター便就航記念セレモニーが行われ、達増岩手県知事、市長などの関係者がテープカットで就航を祝いました。

国際定期チャーター便の運航は開港以来初めてで、6月まで往復運航します。今後は、国際定期便の就航が期待されます。



いわて花巻空港と台湾の桃園空港を結ぶ初の国際定期チャーター便の就航を祝ってテープカットが行われました

復興へ「SL銀河」出発!

4月12日、東日本大震災の復興支援として復活した蒸気機関車「SL銀河」が、JR釜石線の花巻―釜石間で定期運行を開始しました。

乗客176人を乗せたSL銀河は、午前10時37分、力強い汽笛を鳴らし、黒煙を上げながら花巻駅をゆっくと出発。詰め掛けられた多くの鉄道ファンや関係者などが、その雄姿に復興の後押しを託し、笑顔で手を振っていました。

SL銀河は、土日・祝日を中心に、9月末まで運行する予定です。



駅長の合図で花巻駅を出発するSL銀河

市長へのはがきやメールには、住所、氏名(フルネーム)、電話番号、メールアドレス(市長へのメールの場合)が書かれている場合に回答を送付しています。ただし、次のものには回答しません。

- * 公序良俗および良識に反するもの
- * 特定の個人や団体、本市を侮辱または誹謗中傷するもの
- * 営利目的の宣伝、政治・宗教活動やこれに類するもの
- * 不当要求にあたるもの
- * 隣家とのトラブルなど、民事に関するもの
- * 内容の意味や意図が不明なもの
- * 同一の方や同一の家族、団体などから同一の趣旨内容で繰り返して投稿されるもの

■まちづくり懇談会
市内の公共的団体を対象に、まちづくりへの意見や団体が抱える課題などについて懇談します。

■地域住民との対話
市長が毎月(議会が開催される6月、9月、12月、3月を除く)各地域の総合支所で執務し、地域の皆さんとまちづくりについて対話します。日程は、広報はなまきなどでお知らせします。

■要望や陳情の受け付け
市民の皆さんや各種団体から市政への要望や陳情を受け付けています。

市長へのはがきやメールのほか次のような方法で市民の皆さんからの意見や提言をお聞きしています。

■市政懇談会

コミュニティ地区を単位に、市長をはじめ市の職員が地域に伺い、市民の皆さんと懇談します。本年度は5月から11月までの期間で地区ごとに1回、日程を調整しながら開催します。

■政策提案
市長へのはがきやメールで寄せた意見などは異なり、行政サービスなどについて、実施した場合の効果を含めた具体的な提案を受け付けています。

※詳しくは、左記へお問い合わせください

【問い合わせ】
本庁地域づくり課
(☎24・2111内線420)

森林はまちづくりの宝物

「森林とくらしを考える講演とシンポジウム」が4月19日、まなび学園で開催されました。

森林とくらしを考える花巻市民の会が企画し、今回で2回目の開催。参加した市民など約60人が基調講演やシンポジウムを通じて、森林に対する理解を深めました。

基調講演では、岩手大学の岡田秀二教授が「森林は宝物」と題して講演。森林が果たしている役割を紹介しながら、「森林を活用した新たな社会を考えなければならぬ」と呼び掛けました。



「森林を生かした地域づくり」をテーマに、林業従事者や建築家などが意見を交わしたシンポジウムの様子